

きずな安心キット・きずなづくり台帳 ～支え合いの小地域ネットワーク活動 平成27年度の取り組み～

小地域ネットワーク活動とは、市や町内会、民生委員児童委員などが連携し、高齢者や障がいによって支援が必要な方への見守りや声掛けなどを行う“誰もが安心して暮らすための、住民同士の支え合い・助け合い活動”です。

災害や緊急時を意識した日頃からの見守りや助け合い活動を全市に広げるため、対象世帯の把握と連絡体制の整備を目指し、平成27年度からその活動をリニューアルします。今回、新しくなるポイントを紹介します。



緊急時の連絡先や病名、かかりつけ医などの情報を記入したきずなづくり台帳などを透明な筒状の専用容器に入れ、自宅の冷蔵庫などに保管しておくことで、緊急時に備えることができます。

また、きずなづくり台帳を作ることにご同意いただいた方の情報を、市や社会福祉協議会、町内会などの関係機関が共有することによって、平時からの見守り・支え合い活動に加え、災害時の支援体制づくりの強化を図ることができるようになります。

もしもに備えて
○きずな安心キットの配付
○きずなづくり台帳の整備

◆対象者の目安

- ・単身高齢者（おおむね75歳以上で、日常的に見守りや声掛けが必要な方）
- ・高齢者夫婦世帯（おおむね75歳以上のみの世帯で、日常的に見守りや声掛けが必要な方）
- ・身体が不自由な方（車いす利用者や、視力障がいなどのある方）
- ・判断能力が不十分な方（認知症の方や、知的障がいのある方）
- ・そのほか支援が必要な方（災害時に自ら避難することが困難な方）



◆配付について

小地域ネットワーク活動参加町内会を通じて配付します。きずな安心キットは、すぐ取り出せる場所、冷蔵庫などに保管しましょう。

●セット内容

1. ボトル（筒）
2. 玄関用ステッカー
3. 冷蔵庫用マグネットシート
4. きずなづくり台帳（複写式）
5. きずなづくり台帳利用のすすめ

●使い方

きずなづくり台帳に名前や緊急連絡先などを記入し、処方薬の情報などと一緒筒の中に入れておきます。

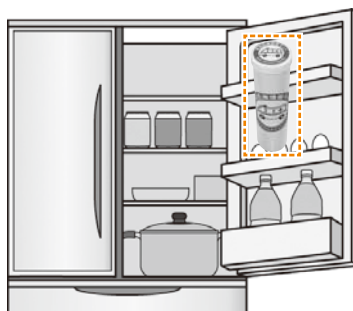
筒をすぐ取り出せる場所に保管しておくことで、いざというときに、異変に気付いた人が中身を確認し、迅速な救急活動へつなげることができます。

●保管場所を表すシールの貼付は2カ所

- ☆ きずな安心キットを入れてある冷蔵庫の外扉
- ☆ 玄関の内側

冷蔵庫に複数扉がある場合は、きずな安心キットを入れた箇所の外扉に貼ります。

玄関を開けたときに、シールが隠れないように、玄関内側の上部に貼りましょう。



▶ 問い合わせ 社会福祉グループ（☎85 1 9 1 1）、登別市社会福祉協議会（☎88 0 8 6 0）